



八雲小学校 学校だより

輝くひとみ



八雲小HP

R5.9.20 発行 文責：田中

「Well-being ウェルビーイング」…「体と心と社会の良好な状態」をめざす！

夏休み期間中にある雑誌を読んでいるとき、「Well-being」という記事が目にとまりました。OECDの国際報告書によると「ウェルビーイング」という言葉は、「児童生徒が幸福で充実した人生を送るために必要な心理的、認知的、社会的、身体的な機能と能力である」と定義されているそうです。慶應義塾大学の前野隆司教授によると、簡単に言えば「良好な状態」だそうで、「良好＝幸せ」と捉え、「幸せ」の因子を分析した結果、以下のような4つの因子を満たすことが重要だという結論に至ったそうです。こうしたことを教育現場にも活かそうとする試みが始まっています。心理学研究からみた結果によると「幸せな人は視野が広い」「幸せな人は創造性が高い」「幸せな人は友だちが多い」「幸せな人は健康長寿」なのだそうです。次期教育振興基本計画では、教育活動全体でウェルビーイングを向上させることの重要性が掲げられているそうです。学校でも、家庭でも、地域でも、この「ウェルビーイング」について、一緒に考えてみたいと思います。そして、子どもたちが少しでも豊かな心持ちで学校生活を送ることができるよう励まし支えていきたいと思っています。

（出典：「教室の窓」より 東京書籍）

① 「やってみよう！」因子

自己実現と成長の因子

- ・ やりがい
- ・ 主体性
- ・ 夢や目標
- ・ 自己肯定感

② 「ありがとう！」因子

つながりと感謝の因子

- ・ 感謝
- ・ 利他
- ・ 親切
- ・ 多様なつながり
- ・ 対話

幸せの4つの因子

③ 「なんとかなる！」因子

前向きと楽観の因子

- ・ ポジティブ
- ・ 楽観
- ・ 自己受容

④ 「ありのままに！」因子

独立と自分らしさの因子

- ・ 人の目を気にしない
- ・ 本来感
- ・ 個性

夏休み期間中も「家庭での支え」「地域での見守りや活動」ありがとうございました。

今年の夏は猛暑を超えて、酷暑の日が続きました。さすがに、夜になっても気温が下がらない日が続くと、寝苦しかったり疲れがとれなかったりして、体調を崩された方もあったのではないのでしょうか。

夏休み期間中に、大きなけがや事故がなかったのは、家庭や地域で子どもたちを見守り、声をかけてくださったからであろうと思っています。夏休みの作品や取組の様子を見聞きするにつけ、各家庭での工夫や支えがしっかりなされていたのだなと感じることがたくさんありました。また、地域で様々なイベントや子どもたちの活動の場を用意していただき、そこに参加して楽しい思い出ができた子どもたちも多くいたと聞いています。本当にありがとうございました。

2学期が始まって、20日あまりが過ぎました。新型コロナやインフルエンザの感染や流行も心配されますが、様々な行事が目白押し2学期。子どもたちに「自分で考えて行動できる力をつける」「友だちの頑張りを心から応援する」ことを心がけて、一日一日を過ごしてもらいたいと思っています。

今月のキラリ！

○窓拭き掃除や草取り作業をする子どもたち

夏休み中に行われたPTA環境整備作業の一コマです。猛烈な暑さの中でしたが、参加した児童・保護者の皆さんは黙々と作業をしていただきました。今年は、前庭の草取りもしていただいたり、体育館の窓拭きもしていただいたりしました。お疲れ様でした。



○帽子をかぶって（ルールを守って）登校する子どもたち

暑さの中、登校してくる子どもたちは、朝から汗だくです。

1学期末に登下校時の帽子の着用を学校からもPTAからも呼びかけてもらい、それぞれのご家庭でも声かけをしてくださったのだなと感じるほどの着用率でした。登下校時の帽子着用は、学校のきまりにもなっていることですので、引き続き、自分の身を守るという意味でも心がけてほしいと思います。



○自分で考えて行動しようとする子どもたち



ほっとルームの使い方について、2学期に入ってから相談の場を持ちました。「自分でできることを考えて、その日一日の計画を立てること」「他の人に迷惑になるような行動はしないこと」等を確認しました。また、親と子の相談員の田中翔子先生がおられない火曜日や午後の過ごし方についても、いろいろな過ごし方を提案したりして、子どもたちに考えてもらいました。その後、一日の計画表に従って学習を進めたり、自分で考えて予定を決めたりすることができるようになってきています。現在、午後の時間のサポートに藤原利明先生と林智恵子先生にボランティアで入っていただいております。

福島視察から感じたこと！

9月13日（水）から15日（金）まで、福島県小学校長会の企画で、視察に出かけてきました。東日本大震災から12年半が経過していますが、復興が進んでいるところ、時が止まったような状態のままのところ、なかなか震災前の状況には戻らない実態など、多くの現実を目の当たりにして、東日本大震災（地震・津波・原子力）の傷跡はまだ強く残っており、復興半ば（まだ始まっていない部分も多い）・・・引き続き風化させてはいけないという思いと風評被害を防ぐなどの支援が必要なことを痛感しました。

1, 2, 4年生は遠足や写生会に出かけます！

「行楽の秋」「芸術の秋」・・・9月27日（水）に1年生が出雲縁結び空港とフォーゲルパークへ、2年生が穴道湖自然館ゴビウス&ふるさと森林公園へ、そして、4年生は熊野大社周辺で写生会を行う計画にしています。普段とは異なる学びの場で、心と体を解放して、友だちと仲良く活動してほしいと思います。保護者の皆様には、お弁当や準備物などでお世話になりますが、よろしく願いいたします。なお、3年生は社会科の校外学習が多くあるため、遠足は行わないことにしましたのでご了解ください。

いよいよ修学旅行に出かけます。平和学習・思い出づくり

6年生は、9月21日（木）～22日（金）で、広島方面への修学旅行に出かけます。これまで、学年で取り組んできた平和学習の内容を自分の目や耳で実際に確かめ、世界平和や身の回りの人権や差別への考えや思いをより確かなものにしてほしいと願っています。また、普段の学校での学習では味わえない「特別な学びの場」でもあると考えています。たくさんの方々のことを実践し吸収して、有意義な修学旅行にしてほしいと思います。



<19日の「結団式」の様子>